

令和2年度第1回京都市歴史まちづくり推進会議 議事要旨

日 時 令和3年6月15日（月）10：00～12：00

場 所 京都市役所 分庁舎 4階 第4会議室

- 議 題**
- 1 京都市歴史的風致維持向上計画に基づく取組について
 - ア 令和元年度実績及び計画の進行管理・評価
 - イ 令和2年度実施予定の歴史まちづくりに関する取組
 - 2 次期計画策定について
 - 3 歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取（非公開）

出席者 高橋 康夫委員（座長）／中嶋 節子委員（副座長）
中川 理委員／森重 幸子委員／矢ヶ崎 善太郎委員
青山 吉隆委員（京都市景観・まちづくりセンター 理事長）
森下 衛委員（京都府教育庁指導部文化財保護課長）
都市計画局 建設技術・景観担当局長 中山 雅永
文化市民局 文化芸術都市推進室 文化財担当部長 山口 壮八
建設局 建設企画部 技術企画担当部長 田中 伸弥

欠席者 井上 えり子委員

配布資料

【資料1】京都市歴史まちづくり推進会議委員名簿

【資料2】令和元年度進行管理・評価シート

様式1 進捗評価シート

様式2 法定協議会等におけるコメントシート（会議後記載予定）

【資料3】京都市歴史的風致維持向上計画掲載事業についての令和元年度実績及び令和2年度実施予定

【資料4】京都市歴史的風致維持向上計画（第2期）素案について

【資料5】歴史的風致形成建造物指定に係る審査資料

議事要旨

<議題1 京都市歴史的風致維持向上計画に基づく取組について>

○座長 議題1「京都市歴史的風致維持向上計画に基づく取組について」を事務局から説明願います。

○事務局 【資料2・3説明】

○座長 道路修景整備事業 三条周辺地区（③-1）：昨年度に続き進捗していないため、こういったところが課題で、こういった対応方針とするのかを具体的に記載されたい。

○委員 ”京都を彩る建物や庭園”修理事業（③-16）：状況を示す写真に掲載している岐美家について、修理前後の様子が大きく変わっているため、こういった工事をしたのか説明を補足した方が良い。

○座長 京町家まちづくりクラウドファンディング支援事業（③-25）：応募件数0件で、実績なしだが、計画通り進捗しているということでもいいか。現在の状況について追記されたい。また、4）文化財の調査及び指定・登録について（④-1）：山科地蔵

堂が文化財環境保全地区に指定されたことも重要な事項なので追加されたい。さらに、令和2年3月に、市域全体に係る「京都の文化的景観」調査報告書が刊行されたが、文化的景観は歴まちと関連が深いので、進捗評価に入れたほうがいいのではないか。

○委員 魅力ある夜間景観づくり(⑥-2)：社会実験を実施したうえで、どういった対応方針をとるのかを記載されたい。また、京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の活用について、歴まちとも関連が深いため、どういった効果があるのかを進捗評価に入れたほうがいいのではないか。

○事務局 御指摘を踏まえ、記載を検討する。

<議題2 次期計画策定について>

○事務局 【資料4 説明】

○委員 指定提案制度の創設とあるが、実態は、どこかからか紹介があって指定に進む、ということではないのか。

○事務局 町家は、まちセンからの紹介で指定につながる場合もある。また、設計者が制度を知っている場合もある。

○委員 歴まち計画では、観光分野以外では、コロナのことは触れられないのか。

○事務局 コロナのことをどのように記載するのか、現状では見えてきていない。

○委員 計画を大きく変えるのではなく、観点を变えるのがいいのではないか。災害など、大きなインパクトがあっても、京都が京都であり続ける、レジリエント性、持続可能性を持っているということが示せればいいのではないか。

○座長 第5章の基本理念で、「京都のまちと暮らしを楽しむことにより、京都文化遺産を千年の未来に伝える」という記載があるが、「京都のまちと暮らしを楽しむ」ためには、京都に観光がどれほど必要なのか、また、歴まちはどう貢献できるのか、考えてほしいと思う。

○委員 第2章を見ると、歴史的風致は、人が集まらなると成立しないように思う。コロナによって影響を受けていると考えられる。

○座長 歴まち計画は、2期計画が終わると、3期計画になるのか。

○事務局 基本的には継続されると考えて

いる。

<議題3 歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取(非公開)>

○座長 議題2「歴史的風致形成建造物指定に係る意見聴取」を事務局から説明願います。

○事務局 【資料5 説明】

(意見聴取の結果：了承)